名古屋大学ジェンダー･リサーチ・ライブラリ研究員募集要項

2026 年 11 月 9 日

名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（以下「GRL」）は、世界的にも数少ないジェンダー研究に特化した大学図書館です。女性・フェミニズム・ジェンダー問題に関する幅広い分野の図書を 2 万冊以上所蔵するほか、女性史、政治思想・社会思想に関する和書・洋書からなる水田珠枝文庫を有しています。これらの図書を基盤として、ジェンダー研究の推進、海外研究者との交流に取り組むとともに、広く市民の利用に開かれた場となることを目指しています。

このたび、GRL では、図書やジェンダー研究を分かりやすく社会に伝え、本や研究と市民をつなぐ「ライブラリ・コミュニケーター」として活動する研究員を、下記のとおり公募します。

1. 募集者：　国立大学法人東海国立大学機構

2. 所属：　　名古屋大学ジェンダーダイバーシティセンター

3. 職名及び募集人員： 研究員（ライブラリ・コミュニケーター）　1 名

4. 任期：2027 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで。
※業務量、勤務成績、態度、能力、予算の状況等によって更新の可能性有。ただし、最長 2032 年 3 月 31 日まで。

5. 業務内容
【雇入れ直後】
- 図書の選定ならびに、本の魅力を伝える紹介 POP の作成やテーマ別図書コーナー等の企画・実施
- 来館者への図書や展示等の説明
- 図書に関するレファレンス・サービス
- 図書やジェンダー研究の成果を分かりやすく伝えるための企画・運営（ブックトーク、読書会、セミナー、企画展示等）
- 『GRL Studies』の編集およびニュースレターの作成
- GRL ウェブサイトの更新
- 海外研究者招聘プログラムの運営
- その他、GRL の活動目的を達成するために必要な業務

【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する業務

6. 応募資格
- 博士の学位を有する者（取得見込みを含む）、またはこれと同等の研究歴や実務歴を有する者
- ジェンダー研究に特化した図書館のコミュニケーターとして、意欲的に業務に取り組める者
- 英語で円滑にコミュニケーションをとれることが望ましい

7. 勤務地：【雇入れ直後】名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ
名古屋市千種区不老町　地下鉄「名古屋大学」駅 1 番出口徒歩 1 分
【ジェンダー・リサーチ・ライブラリ開室時間】

火、水、木、土曜日　10:00～17:00　金曜日　10:00～20:00
【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する就業場所
8. 勤務日：　月曜日～金曜日又は火曜日～土曜日（応相談）
9. 休日・休暇 ：　土曜日、日曜日、祝日及び年末年始または月曜日、日曜日、祝日及び年末年始
10. 勤務時間　：10-17 時（休憩 60 分、実働 6.0 時間）　の週 30 時間
11. 雇用形態：パートタイム勤務職員
12. 給与：時給 2,600 円～2,980 円

13.待遇：

- 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 交通費は別途支給します。支給要件あり。上限 150,000 円/月
- 研究費 30 万円程度（年間）の支給有り
- 受動喫煙措置： 原則としてキャンパス内は喫煙禁止

14.提出書類

1) 履歴書（現住所、電話番号、電子メールアドレスを明記、学位欄に博士の学位授与機関・授与年・論文題目を明記）
2) 研究業績リスト（主要研究業績３点以内に○印を付記）：①学術論文（査読の有無を明記）、②書籍等出版物、③所属学会、④学会等での発表、⑤科研費等の外部資金獲得状況（研究代表者・研究分担者の別を明記）⑥その他特筆すべきもの
3) 主要研究業績（著書・論文）３点以内
4) 主要研究業績（著書・論文）３点以内の要約（合わせて A4 用紙 1 枚）
5) ジェンダー・リサーチ・ライブラリの職務に関する抱負（A4 用紙 1 枚程度）
6) 類型該当性の自己申告書（その他を参照してください。）

15.応募方法

上記「提出書類」一式を電子メールで提出。
提出締切：2026 年 12 月 18 日（金）正午必着。＊外国からの応募も日本時間を厳守。
宛先アドレス：grljinji@t.mail.nagoya-u.ac.jp
件名：GRL 公募応募

注意事項：応募を受領後、確認のメールを返信します。提出後３日経っても返信が届かない場合は、上記宛先アドレスに問い合わせてください。
応募書類は 1 つの PDF ファイルにまとめる等の標準的な方法で添付。
（ファイルの大きさが 10 MB を超える場合は、事前に連絡ください）

16.選考方法

第一次選考：書類審査
第二次選考：第一次選考通過者に対して、面接を実施。
面接は、原則として対面とします。ただし、事情によってはオンライン形式での面接を行う場合もあります。面接日時は、担当者から e-mail 等にて連絡します。

17.その他

- 面接のための交通費は支給しません。オンライン形式での面接を希望する場合は、面接日時の連絡の際に申し出てください。
- 提出いただいた書類は、本選考以外の目的には使用しません。
- 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。以下から自己申告書様式をダウンロード･記入し，他の応募書類とともにご提出ください。
  https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/bLFocRofmoj83zp
  また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。
- 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。
  ジェンダーダイバーシティセンター：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ DEIB (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging) 推進宣言：
  https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html
- 本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。詳細は下記をご覧ください。
  https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u
- 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
- 本学は、採用選考、就職説明会、インターンシップ、教育実習その他の求職活動 等において、求職者等に対するセクシュアル・ハラスメントを防止するための取組 を行っています。採用担当者等による性的な言動その他の不適切な行為があった場 合は、下記相談窓口へご相談ください。相談したことを理由として不利益な取扱い を受けることはありません。　ハラスメント相談センター https://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp/ Tel: 052-833-9061　E-mail: h-help@t.mail.nagoya-u.ac.jp

18.問い合わせ先
名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ　（E-mail: grljinji@t.mail.nagoya-u.ac.jp）